



福岡貿易会情報誌 福貿ニュース



今年もよろしくお願ひいたします



会 長
並田 正一

昨年は、東北大震災をはじめ激甚災害が続き、まさに国難にさらされた1年でありました。特に各国で日本製品に対する輸入規制が実施され、事態収拾に、国をあげて奔走させられました。私どもも、関係機関・団体のご協力で放射線に関わる輸出セミナーを緊急開催するなど、微力ながらお手伝いをさせていただきましたが、わが国の誠実な対応は、世界の信用をかえって増大させることとなり、その信頼回復の速さには目を見張るものがあります。

いっぽう、九州新幹線の全線開通、博多～上海の高速RORO船の増便、福岡～ホノルルの航空便就航に続き、今年は海外クルーズ船の大型化と寄港回数増加が予定されるなど明るい話題も多く、福岡の大きな飛躍が予感される年でもあります。また、福岡市とボルドー市の姉妹都市交流締結30年目の年でもあり、私どもも大訪問団を組んでお祝いに花を添えたいと存じております。引き続き円高や、欧州債務問題、TPP参加交渉など世界経済の行方はいよいよ予測しがたく、また震災復興も道半ばですが、本年こそ会員の皆様にとって、よい年になりますことを祈念いたします。



福岡市長
高島 宗一郎

福岡貿易会におかれましては、福岡市の貿易振興と地域経済の発展に多大なるご尽力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、世界や国内の経済状況を見ますと、欧州の債務問題、円高など厳しい状況が続いておりますが、このような中、福岡市では都市の魅力や暮らしの質を高め、人と投資を呼び込むという基本方針を掲げ、その実現に向けて様々な政策を展開してまいります。

成長著しいアジアの活力を取り込みながら九州・西日本地域の経済活動を支える博多港につきましては、欧米、アジアとのコンテナ航路の充実や、中国・韓国とのシームレス物流を実現する「国内・国際ROROターミナル」の集約、外航クルーズ客船の誘致・拡大や国際定期旅客航路の振興を図り、日本海拠点港にふさわしいゲートウェイ形成に努めてまいります。

また、多くの海外路線を持つ福岡空港は新たにホノルル線が開設されるなど航空網の拡大が進んでいますが、そのいっそうの充実を図ります。アジアのリーダー都市・福岡の実現に向けて、福岡貿易会の皆様のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

イスラエル・トルコ訪問記



福岡貿易会では、昨年10月から11月にかけて10日間、イスラエルとトルコに、並田正一会長を団長として22人の経済視察団を派遣しました。当会の経済視察事業は次の時代に飛躍が予測される国や地域の視察を基本方針としていますが、両国ともわが国との貿易の進展が期待されることから、今回の訪問となりました。

*

先端技術の国・イスラエル

JETROテルアビブの高木啓マネージャーからご説明をいただきました。同国はハイテク、電子ベンチャー産業、先端医療技術、世界最大の淡水化プラント、太陽光発電、水処理などの次世代エネルギー産業、灌漑技術など最先端技術を駆使した特異な産業発展から、中東のシリコンバレーと呼ばれています。インテル、ヤフー、グーグル、マイクロソフトなど世界企業の研究所が軒を連ねており、フラッシュメモリー、インスタントメッセンジャー、ファイアーウォールといった、今や世界標準のIT技術も同国のベンチャー企業から生まれたものだそうです。また、国策として伝統的に得意なダイヤモンドの研磨産業に力を入れ、オランダ、ベルギーと並ぶダイヤモンドの国際市場としての地位も確立しています。

一行は、軍事技術をベースに医療用のカプセル式内視鏡を開発したギブン・イメージング社を訪問しました。同社は、従来の管のついた内視用カメラを、薬のように飲み込むことのできるカプセルに変え、消化器検査を飛躍的に容易にしたメーカーで、世界中の医療機関で採用されています。また、世界最高峰の研究・教育水準を持つといわれるテクニオン・イスラエル工

科大学も訪問。ノーベル賞受賞者や「世界の科学者50人」に選ばれた教授陣を擁し、この大学での研究は、そのまま同国の産業育成と開発につながっており、大学での研究成果をいかに商用化するかが日々検討されています。いっぽうで、聖書の世界が今も残っており、城壁に囲まれたエルサレムの旧市街やキリスト生誕の地ベツレヘムの歴史遺産、「死海」の自然遺産など有名な観光資源が豊富にあり、世界各地からの巡礼をはじめ観光も重要な産業となっています。

伝統的な親日国家・トルコ

古くから世界史の舞台に君臨してきた国ですが、19世紀から20世紀初頭に瀕死の重病人といわれる内憂外患に見舞われ、ついには領土の半分以上を失うほどの国家危機に陥りましたが、今日ではBRICsに次いで経済の急成長が期待されるNEXT-11の国家群のひとつに数えられています。イスラム教の国ですが、政治的にも、経済的にもヨーロッパの一員として参加しており、トルコ政府自体も「モダン・イスラム」を標榜しています。

GDP成長率はヨーロッパ7位、中東1位にあり、11年度も10%近い成長を示しています。意識の高い労働力に支えられたローコストハイスpekにより、自動車が輸出品目のトップにあるなど、繊維・食品加工業から重工業へと幅広い分野の製造業に移行しています。主な

イスタンプールでの日本企業との懇親会で



マーケットは欧州・北アフリカ・中近東・ロシア・中央アジアなどです。2013年のEU加盟を目指していますが、東西格差・所得格差の解消、経常赤字・貿易赤字の解消、クリアすべき課題も山積しています。

トルコ国民の親日感情はつとに知られるところですが、これは1890年（明治23年）に、トルコの軍艦・エルトゥールル号が和歌山県の串本沖で遭難したときの、地元民による献身的な救助活動が原点となっています。1985年（昭和60年）のイラン・イラク戦争勃発の際には、イランから脱出する手段がない日本人に対しトルコ政府がトルコ航空の旅客機2機を戦時下のテヘラン空港に派遣し、200余名の日本人を救出したというエピソードもあります。トルコでは、世界有数のメガシティといわれるイスタンブールを訪問。紀元前7世紀に建設された古代ギリシャの植民都市ビュザンティオンを起源とし、東西の様々な人が住む多文化都市、東西交易の中心都市として栄え、今も世界中の観光客が訪れています。

JETROイスタンブールの中島敏博副所長からトルコの貿易事情のご説明をいただき、続いて夕刻には、在イスタンブール日本国総領事館の林克好総領事からトルコと日本の関係について詳しく講義していただきました。また、在イスタンブール日本人会商工部会のメンバー13社との意見交換会も開催、最新の情報に接することができました。

今回の訪問は、新しいビジネスの可能性を感じさせるツアーとなりました。

ギブン・イメージング社を訪問して



特別寄稿

ビジネス参入に期待

株式会社トクスイコーポレーション

代表取締役 社長

徳島 建征



恒例の海外『遠距離』視察。今回は、ほぼ全員初訪問のイスラエル・トルコでした。

まずはイスラエル。四国ほどの広さの国土ながら、香港、シンガポールと同規模の2,174億ドルのGDPを誇ります。複雑な国際情勢下で揉まれてきた結果、先端的な軍事技術とノウハウが、独創性のある効率的な技術力として国内産業に活かされ、国家経済に大きく貢献しています。現在、米NASDAQ上場の企業は60社。さらに、欧米のICT、ライフサイエンス、化学、食品などのそうそうたる企業がR&D拠点を置いています。視察ではカプセル型内視鏡の世界的リーダーであるGIVEN IMAGING社を訪問、またMITと双壁とまでいわれるイスラエル工科大学では、T3という産学研究開発連携機構のプレゼンを受けました。世界有数の『知的産業立国』を遂げつつあり、今後の動向には要注目です。

そしてトルコ。EUへの加盟交渉自体を自国強化のベンチマークツールとして『総合ものづくり立国』を推進しているとの印象を強くしました。既にEU内の主要産業の多くは、徐々に生産基盤をトルコに移転しており、特に重工業の実働エリアとしての機能充実が進んでいます。同時にEU相手に培った産業技術を周辺の中近東、東ヨーロッパに売り込むしたたかさもあり、さらには良き隣人として360度の外交を展開しながら、着実に政治・経済上の勢力を拡げている逞しい国でもあります。GDPも7,360億ドルと、EU内でオランダに次ぐ7位、中近東では首位で、7,800万人の人口のうち年齢中位数が29.7歳と、層の厚い若年人口を抱え、さらなる成長の可能性が充分にあります。

両国とも、基本は政教分離の合理主義の国で、カジュアルやハラルなどの食事規定を除けば、宗教的な制約適応も個人に委ねられており意外に自由です。

また日本とのビジネスですが、イスラエルは出資や連携可能な実利志向の研究と豊富なアイデアが魅力。トルコは中・高度な技術指導をしながらの製造業拠点づくりや、耐震対応技術を持った建設業への参入が期待できそうです。さらに両国ともサービス業は広範囲に参入の余地あります。

帰国して改めて振り返ると、やはり百聞は一見に如かず…で、新たな発見ばかりでした。私の会社も中、長期における展開を視野に、さらに詳細な視察を予定しています。貿易会の海外視察は、縁遠くなじみの薄い地域に在外公館などの手厚いサポート付きで訪問できるうえ、メンバーとの有意義な交流もあり、まさに一石二鳥です。今年のご参加をお薦めします。

イスラエルとトルコの概況 (2010年)

| | イスラエル | トルコ |
|----------|---|---|
| 公用語 | ヘブライ語、アラビア語 | トルコ語 (ウラル・アルタイ語系) |
| 首都 | エルサレム | アンカラ |
| 人口 | 780万人 (うち550万人がユダヤ人) | 7,372万人 (トルコ人が大半。ほかにクルド人、ギリシャ人、ユダヤ人) |
| 宗教 | ユダヤ教 (75%)、イスラム教 (15%) キリスト教 (8%)、ドルーズ教 (2%) | イスラム教 (98%)、キリスト教、 ユダヤ教 |
| GDP | 2,174億ドル (世界42位) | 7,360億ドル (世界17位) (EU7位、中近東1位) |
| 一人当たりGDP | 28,500億ドル (28位) | 10,079億ドル (59位) |
| 貿易額 | 輸出…584億ドル (日本へは1%) 輸入…591億ドル (日本からは3%) 輸出…ダイヤモンド、医療精密機械、 化学製品、電子部品等 輸入…自動車、機械類、光学・医療 機器、化学製品、電子部品等 | 輸出…1,040億ドル (同2%) 輸入…1,855億ドル (同1%) 輸出…自動車、機械類、鉄鋼品 輸入…石油・天然ガス、機械、鉄鋼品 |
| 主な産業 | IT産業、ライフサイエンス産業 | 繊維・食品加工業から重工業へ移行 |
| 進出日系企業 | 日立データシステムズ、日健、森六、 安川電気、大日本スクリーン、TDK、 森精機、三井物産、三菱商事、伊藤忠 | 自動車・同関連：18社 商社：11社、建設：4社 機械：17社、繊維：3社 運輸：5社、金融：2社 など |
| 在留邦人 | 914人 (2011年) | 1,571人 (2011年) |
| 特記 | ・最先端医療精密機器 ・カプセル型内視鏡が日本で注目されている。 | ・2010年には実質GDP 9%の成長。 ・中央アジアから欧州へのエネルギー 輸送の要衝としても注目されている。 |

オリーブ山からエルサレム旧市街地をのぞむ



イスラエルとトルコの略年表

| イスラエル | | | トルコ | | | | |
|----------|-------------|-------------------------|---------------------------|-------------|------------|-----------------------------------|---|
| B. C. | 20C | 聖書の時代 | アブラハム、カナンに定住。一族とエジプトへ | 20 C | ヒッタイト | イオニア文明始まる | |
| | 13C | | モーセによるエジプト脱出 | 15 C | | ヒッタイト王国全盛 (~ 1180 ?) (首都ハットゥシャシュ) | |
| | 1020 | | イスラエル最初の王サウルが即位 | 8C | | 古代ギリシャ文明の発展 | |
| | 997 | | ダビテ、イスラエル王となる | | | リキヤ文明興隆 | |
| | 967 | イスラエル王国 | ソロモン王即位 965 エルサレム神殿の建設を開始 | B. C. | 550頃 | ペルシア帝国が小アジアを征服 | |
| | 930 | | ソロモン王の死。王国はイスラエルとユダに分裂 | | 333 | マケドニアのアレキサンダー大王、小アジアを征服 | |
| | 722 | バビロン捕囚 | イスラエル、アッシリアにより滅亡 | | 312 | セレウコス朝成立 (首都アンティオキア) | |
| | 587 | | ユダヤ、バビロニアによって滅亡。バビロン捕囚 | | 263 | ペルガモン王国成立 (~ 133) (首都ペルガモン) | |
| | 331 | ローマ時代 | アレキサンダー大王のパレスチナ征服 | | 64 | ローマ帝国がセレウコス朝を滅ぼす | |
| | 164 | ギリシャ時代 | ギリシャに対して反乱。自治独立へ | | 330 | コンスタンティヌス帝、コンスタンティノープル遷都 | |
| A. D. | 30 | | イエス刑死される | | 395 | ローマ帝国、東西に分裂 | |
| | 66 ~ 70 | | ローマによるエルサレム陥落 | | 527 | ユスティニアヌス大帝即位、最大領主となる (~ 565) | |
| | 132 ~ 135 | | ローマへの反乱。ヨーロッパなどへ離散始まる | | 610 | ヘラクレイオウス1世が即位、ササン朝を攻撃 | |
| | 638 | 離散の時代 | アラブ軍のエルサレム占領 | | 636 ~ 639 | ビザンツ帝国時代 | アラブ軍、ビザンツ領へ進出、シリア、エジプト陥落 |
| | 1072 | | セルジューク朝、エルサレム占領 | | 717 | | ウマイヤ朝軍、コンスタンティノープル攻撃失敗 |
| | 1096 | | ヨーロッパ中部でユダヤ人虐殺 | | 843 | | コンスタンティノープル公会議で聖像論争決着 |
| | 1099 | | 十字軍エルサレム支配 | | 976 ~ 1025 | | バシレイオス2世の治世、ビザンツ帝国全盛 |
| | 1290 | | イギリス王、ユダヤ人を追放 | | 1054 | | 東 (コンスタンティノープル) 西 (ローマ) 教会の分裂 |
| | 1291 | | マムルーク朝、エルサレム占領 | | 1071 | | マラズギルトの戦いでセルジューク朝にビザンツ軍大敗 |
| | 1492 | | スペインからユダヤ人が追放される | | 1077 | セルジューク朝時代 | ルーム・セルジューク朝成立 (~ 1302) (首都コンヤ) セルジューク朝配下の将軍がアナトリア各地で独立 |
| A. D. | 1516 | | オスマン朝のパレスチナ支配始まる | | 1096 | | 第1回十字軍、進軍開始 |
| | 1555 | | ヴェネチアでユダヤ人に差別バジルの着用義務化 | | 1299 | | オスマン朝成立 (首都ブルサ→エディルネ→イスタンブール) |
| | 17世紀 | シオニズム運動 | ポーランドでユダヤ人虐殺 | | 1453 | | コンスタンティノープル陥落、ビザンツ帝国滅亡 |
| | 1791 | | フランス革命でユダヤ人が選挙権を得る | | 1517 | | エジプト征服、マムルーク朝滅亡 |
| | 1894 | | ドレフュス事件。シオニズム運動のきっかけに | | 1526 | | モハーチの戦いでハンガリーを領土とする |
| | 1917 | | バルフォア宣言 | | 17C前半 | オスマン朝時代 | スルタンの暗殺や反乱が続き、オスマン朝混乱 |
| | 1922 | | イギリス、パレスチナの委託統治を開始 | | 1656 | | キョプリュリュ時代始まる。オスマン朝は領土最大に |
| | 1933 | | ヒトラー首相就任。ヨーロッパでユダヤ人虐殺始まる | | 1703 | | アフメット3世即位、チューリップ時代始まる (~ 30) |
| | 1948 | | イスラエル建国宣言。アラブ諸国と第1次中東戦争へ | | 1821 | | ギリシャ独立戦争 (~ 29) |
| | 1956 ~ 1973 | 現代イスラエル | 第2次~第4次中東戦争 | | 1877 | | 露土戦争 (~ 77)、欧州の大半を失う |
| 1979 | | エジプト・イスラエル平和条約調印 | | 1908 | | 青年トルコ党の革命 | |
| 1995 | | ラビン大統領暗殺 | | 1914 | | 第1次世界大戦。オスマン朝は同盟国側に立って参戦 | |
| 2002 | | イスラエル、パレスチナ地区との分離壁の建設開始 | | 1918 ~ 1922 | | 大戦で敗北、独立宣言して祖国解放戦争で勝利 | |
| 2004 | | アラファトPLO議長死去 | | 1923 | 共和国時代 | トルコ共和制成立。ムスタファ・ケマル、初代大統領に | |
| | | | | 1995 | | EUと関税同盟を結ぶ | |
| | | | | 2005 | | 旧100万リラを1リラ (1TL) にするデノミが実施される | |

最新中国事情

自動車産業

中国の自動車産業は、80年代に開放経済政策への転換から、北京ジープ、広州プジョー、上海フォルクスワーゲンなど先駆けの企業が誕生。急速に生産台数を伸ばしたのは、01年のWTO（世界貿易機関）への加盟以降、トヨタと第一汽車、日産と東風汽車、韓国の現代と北京汽車の組み合わせで合弁会社が設立され、世界の自動車メーカーが出揃ったからだ。

中国経済は85年～10年の25年間で、インフラや設備投資等の固定資産投資の平均増加率が19%、個人消費は同じく14.5%（都市部の1人当たり消費額は765元から15,686元に）、輸出の伸びは17%を記録し、これが成長のエンジンとなってGDPを急速に押し上げ、自動車の大量消費を支えてきた。日本でも昭和40年代には、憧れの消費生活は3C（カー、クーラー、カラーテレビ）と表現されたが、中国においても、こうした消費欲求が、概ね満たされようとしている。

乗用車と、トラック、バスなどの業務用車を合わせた中国の自動車生産台数は、2000年に207万台で世界第8位になり、02年には5位、03年4位、06年3位と上昇を続け、08年にアメリカを抜いて2位になり、09年には1,379万台で日本を抜いて世界一になった。10年も生産台数は1,826万台で世界の24%を占めてトップの座を守っている。

る。15年には、世界で生産される自動車の3台に1台が中国産になると予想されている。

また、高速道路建設もめざましい進展を見せ自動車普及の追い風となっている。88年に上海で開通して以来、この22年間で総延長は74,000kmに達し、米国に次いで世界2位となった。20年までにさらに1万kmを建設し、アメリカを追い越して世界で第1位にする計画も立てられている。

しかし、中国では中央政府のコントロール下でない地方政府の投資（「諸侯経済」と呼ばれる）による生産が国全体の需要を超え、縮小できないまま過剰能力を抱えていく現象があり、乗用車も900万台が過剰と見られ、潜在的過剰業種に指定されている。

このため、国内で100を超すといわれる自動車メーカーは、今後、統合と合併を余儀なくされその結果、世界規模の大企業が出現し、かつての日米間の貿易摩擦に近い将来、中国とアメリカ、EUとの間に生じるとの観測もある。

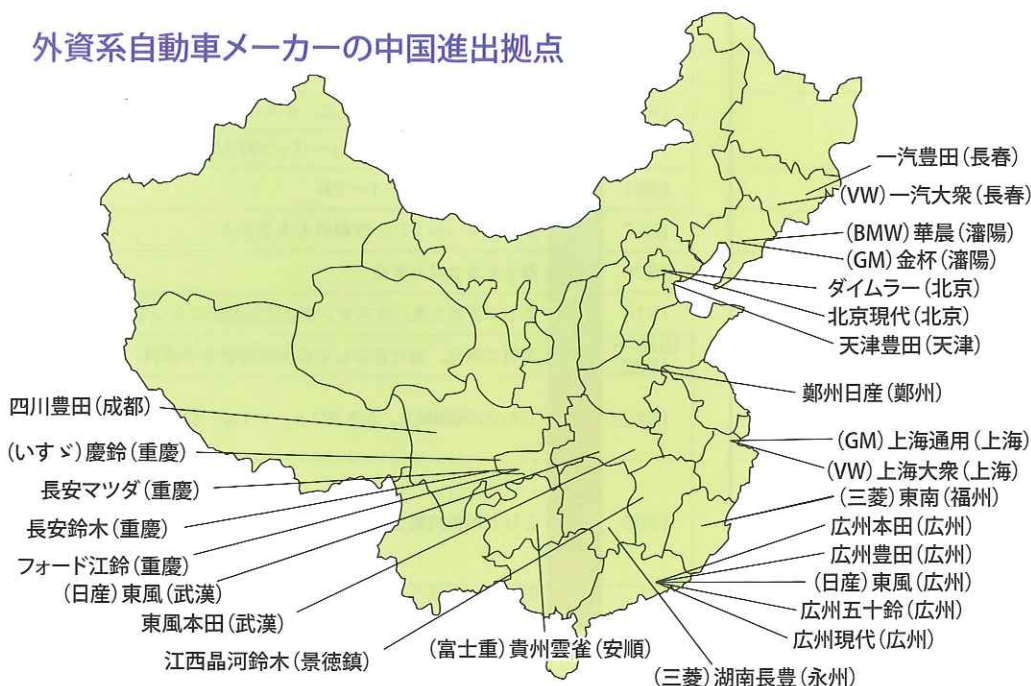
一方、日系メーカーは、比較的高価格にもかかわらず、高品質、低燃費、環境対応など強い競争力で、市場占有率はなお、外資系で国内第1位の座にあるが、今後は比較所得の低い内陸部や中小都市での市場開拓に向け、既存車種の投入ばかりでなく、独自の中国仕様の車種開発などが求められそうだ。

完成車ばかりでなく、部品供給にも新たな展開がみられる。昨年11月、広州市で開かれた「広州モーターショー」の関連催事として「日系自動車部品展示会」が開催された。04年から毎年開かれており、九州をはじめとする部品メーカー164社が参加、現地の自動車メーカーに売り込みをかけた。中国メー

カーにとっても、高品質で技術力のある日系サプライヤーとの取引は、自社製品の品質向上や競争力強化につながり、中国への供給がこれから事業拡大の牽引役になるとの期待は大きい。

12次5カ年計画に戦略的振興産業として、電気自動車の開発が掲げられている。独自開発か外資との合弁になるか、気になるところだが、変化の激しい中国経済の中で、世界の自動車産業の未来を占うのは、なかなか難しそうである。

外資系自動車メーカーの中国進出拠点





いっそうの交流拡大を

韓国貿易センター（福岡）館長
金民煥

金民煥

福岡市博多区博多駅前三丁目2番1号 日本生命博多駅前ビル11階
☎473-2005 FAX 473-2007



大韓貿易投資振興公社（英文略称名：KOTRA）福岡貿易センターの館長として、一昨年8月に就任して早くも1年が過ぎ、2度目の冬を迎えようとしています。

福岡は、大変美しく住みやすい都市だと思います。私は弊社の東京貿易センターで90年代初めに3年、そして2004年に1年、計4年勤務しましたが、巨大都市のためか、普通に暮らすには少々窮屈さを感じました。

日本での生活は、どこでも同じようなものかと思っていましたが、福岡の生活は私に多くの満足感を与えてくれます。交通渋滞もひどくなく、おいしい食事、親切な人々、美しい景色など他の地域に比べて生活環境が大変素晴らしいのです。福岡勤務の韓国企業の人たちと話す、定年後は福岡に住みたいという人も多いです。以前、美しい景観で有名なニュージーランドに3年間勤務しましたが、九州の景色はニュージーランドに匹敵するものだと感じています。

私どもKOTRA福岡貿易センターの役割は、韓国と福岡を含めた九州、山口県、沖縄県との貿易、投資など経済交流の促進です。毎年増え続けている韓国の対九州貿易は、世界経済危機に見舞われた08年、09年に減少しましたが、2010年からは回復基調にあります。同年の韓国の対九州輸出は前年比で18%増加し3,951億円、輸入は1兆568億円で、前年比で37.6%も増加しました。

韓国の九州への主要な輸出品は、半導体などの電子部品や一般機械類、鉄鋼・金属などの原料製品、石油製品、食料品などで、輸入品は産業用ポンプなどの一般機械類、化学製品、鉄鋼などの原料製品、電気機器などです。

私どもでは、主として韓国の中小企業を支援するため、次のような事業を展開しております。

①韓国と日本企業間の輸出入、②商談斡旋と情報提供、③韓国から日本への貿易投資ミッション

④韓国の派遣、④韓国で開催の貿易商談会に参加希望の日本企業の発掘と派遣、⑤日本に支社がない韓国企業のために貿易センターが支社の役割をしてマーケティングを支援する事業、⑥韓国での展示会参加希望の日本企業の発掘、⑦韓国への投資を希望する日本企業の誘致、⑧韓国と日本企業間の技術協力促進——、などです。

昨年は、東日本大震災により、特に食品、生活用品および機資材などの輸入要請が多く、引き続き円高の影響もあり、各種部品を韓国から調達したり、韓国に工場を建設しようとする日本企業のお手伝いもいたしました。

韓国と日本、特に九州は産業構造が類似しており、中国、東南アジア、インドなどの巨大市場に近く、両地域の企業は互いに部品調達、各種製品の生産、技術協力などを通じて、第三国市場への進出を図らなければならないと思っています。

韓国と九州は、航空便と船便が、それぞれ週に70回近くも往復するなど、交流が活発です。

最近円高の影響もあって、日本からの観光客が増えています。韓国人は福岡について未だよく知りません。福岡を紹介するには、釜山と同じ港湾都市であり、釜山の南210kmのところであって、高速船でも3時間、飛行機だとわずか40分で着くほど近い街だと説明すると、親しみがわき、理解もしやすいようです。



スタッフの皆さん。左から、チョ・ビョング課長、ジョン・ビョンジュ次長、筆者、キム・ヨンファン課長、星山さん、ヤン・キョンジャさん、久野さん、シン・ソヒさん

上海通信

一年の始まりは春節から

日本は西暦で新年を祝いますが、中国では、旧暦の新年、つまり春節が年の始めです。今年は1月23日が春節にあたります。旧暦で毎年変わるため、政府が春節期間の通達を出します。最近はなくなったようですが、以前は、出生届提出の際に、届出にきた親と役所の受付職員の意思疎通がうまくいかず、新暦と旧暦を間違えて誕生日が登録されることも多かったそうです。私の友人でも「本当の誕生日は2月3日だけど、戸籍上の誕生日は12月30日になっている」という人がいます。特に怒っているわけでもなく、そのあたりは中国風に言えば、“差不多”（だいたい同じだから、まあいいや）ということでしょうか。

弄堂はオールド上海の魅力だが

さて、上海は浦東開発区（森ビルや上海電視塔があるエリア）に代表されるアジアの経済・金融センターとしての一面を持ちつつ、浦東開発区の内岸にある外灘（バンド）や代表的な観光地である豫園、街に点在する古い洋館風の建物や“弄堂”（ろうどう）と呼ばれるコミュニティのあるオールド上海がうまく融合しています。高層ビルが林立する傍に、旧租界時代の建築をうまく使った、おしゃれなレストランや欧米人向けのダンス・クラブがあります。

弄堂は日本風に言えば長屋でしょうか。都会の喧騒の中、大通りから一歩足を踏み入れればそこには全く違う世界が存在します。中では布団が干されていたり、玄関先で藤椅子に腰かけてのんびりお茶を飲んだり、ご近所の人と世間話や麻雀をするなど、ゆったりとした時間が流れています。

弄堂は別名“石庫門”とも呼ばれ、1920年代には住民の75%以上がここで生活し、現在でも上海住民の40%が生活

◎オールド上海物語「貴重な家並みが消えてゆく」

上海代表処 所長 榊原 英明



しているといわれています。

しかしかつての日本の町屋と同様90年代初めに始まった大規模開発により、多くの石庫門が撤去され、そのあとに次々と高層ビルやマンションが建てられました。風情のあるオールド上海が次々に消えていく中、人々は上海の文化遺産ともいえる、この石庫門の魅力を再認識したのです。

新しい観光スポット“新天地”と“田子坊”

10年前に石庫門を改造して作られた“新天地”は、たちまち上海を代表する観光・娯楽スポットとなり、観光客はもちろん、上海在住の外国人にたいへん人気があります。新天地はもともと居住区であった石庫門に、商業施設としての機能をプラスし、古き良き時代の雰囲気を感じながら、最先端のファッション、グルメ、文化を楽しむことができます。これこそが新天地の魅力の本質で、「継承と開発」、「伝統と現代」を組み合わせた良い例として高い評価を得ています。

ほかにも石庫門自体は改造せず、1階部分を店舗としてリノベーションし、雑貨店やカフェ、美術館などが集まる新しい観光スポット“田子坊”も現在人気上昇中です。新天地の商業施設が比較的大規模なのに比べ、こちらは小スペース・個人経営の店が多く、また若いデザイナーが多く集まるなど、開発による新しい街並みとの対比が、さらにはつきりしているスポットと言えます。

現在、上海の建設現場では“旧城改造”というスローガンの下、引き続き大規模な都市開発が行

われており、石庫門など古い建築はどんどん減ってきています。経済発展や市民の快適な暮らしのためにはこうした建替えも必要ですが、いかにしてオールド上海の風情を残しつつ、都市機能を拡大させていくかが、今後の重要な課題だと思います。

新しい観光スポットの田子坊



新 会 員 の ご 紹 介

株式会社 幸華貿易

- ・業務内容／アクセサリー、日用雑貨、インテリア等の卸、小売業
- ・代表者／代表取締役 松本 幸枝
- ・所在地／☎810-0014
中央区平尾一丁目3番31-603号
☎ 523-2828 FAX 523-2828

AIU 保険会社 九州第一営業本部

- ・業務内容／損害保険業
- ・代表者／本部長兼福岡支店長 堀井 享
- ・所在地／☎810-0001
中央区天神四丁目3番30号
天神ビル新館 7階
☎ 718-7000 FAX 751-8001

株式会社 グッド・サポート

- ・業務内容／総合保険代理店
- ・代表者／代表取締役 中島 克
- ・所在地／☎812-0037
博多区御供所町2番63号 3階
☎ 263-6771 FAX 263-6772

株式会社 サットンホテル博多シティ

- ・業務内容／ホテル業
- ・代表者／代表取締役社長 金 顕泰
- ・所在地／☎812-0011
博多区博多駅前三丁目4番8号
☎ 433-2305 FAX 433-2307

これからの動き

- 1月18日 ハラル・ビジネスセミナーを開催。イスラム諸国への食品、化粧品、皮革製品、薬品などの輸出に不可欠のハラル認証について、基礎から学ぶ。講師は岡野英克氏。詳しくは福岡貿易会へ。
- 1月23日 福岡県が福岡市内に福岡アジアビジネスセンター（☎791-5025）を開設。アジア展開を目指す企業に、情報提供から現地サポートまでを行う。
- 1月27日 小規模交流会「福貿倶楽部」を開催する。ゲストスピーカーは、韓国・大田広域市福岡通商事務所の黄 圭弘所長。お申し込みは、福岡貿易会へ。
- 2月 8日 福岡市港湾局と博多港振興協会が共催で、東京で博多港振興セミナーを開催。
- 2月21日 実務のベテラン向けの食品輸入実務者セミナーを開催。講師は福岡検疫所輸入食品相談指導室長の川西一史氏。詳しくは、福岡貿易会へ。
- 2月29日 中国ビジネス実務セミナーを開催。国際ビジネスアドバイザーの仙波慶子氏を講師に、取引の実情や労務管理などを学ぶ。詳しくは、福岡貿易会へ。

エスペランサ税理士法人

- ・業務内容／税務・会計顧問／コンサルティング、事業承継対策、公益法人支援、医療法人支援、事業再編／企業再生、会計処理・給与計算業務等のアウトソーシング、会計監査、海外支援業務
- ・代表者／理事長 藤本 周二
- ・所在地／☎810-0001
中央区天神一丁目1番1号
アクロス福岡 5階
☎ 741-6316 FAX 741-6326

株式会社 ユウシステム

- ・業務内容／インターネットを使ったインバウンドサポート、人材派遣業向けパッケージシステムの販売・構築、ホームページ作成、システム開発
- ・代表者／代表取締役会長 入江 英也
- ・所在地／☎812-0013
博多区博多駅東一丁目9番11号
大成博多駅東ビル 5階
☎ 473-0888 FAX 473-0887

サーブコープ福岡株式会社

- ・業務内容／レンタルオフィス、バーチャルオフィス
- ・代表者／代表取締役
アルフレッド・ジョージ・モーフォレッジ
- ・所在地／☎812-0011
博多区博多駅前一丁目15番20号
☎ 419-2300 FAX 419-2350

株式会社 損害保険ジャパン 福岡中央支店

- ・業務内容／損害保険事業、他の保険会社の保険業に係わる業務の代理または事務代行、債務の保証、確定拠出年金事業、自動車損害賠償保障事業委託業務
- ・代表者／支店長 石田 昌彰
- ・所在地／☎812-0011
博多区博多駅前一丁目3番3号
明治安田渡辺ビル 5階
☎ 481-4702 FAX 413-8760

人 事 短 信

※氏名の後の（ ）は、直前の役職です。
（会員企業様のトップの方の交代もご紹介します。ぜひ、当会事務局までご一報下さい。）

○福岡商工会議所

23年11月7日付

（新任）

会 頭 末吉紀雄

副会頭 本田正寛、樋口正孝、榎本重孝、前川道隆

○中華人民共和国 駐福岡総領事館

23年11月19日付

（新任）総領事 李 天然

（転任）武 樹民（総領事）

貿易取引の成否を決めるモノ ⇒ それは皆さんの毎日の「コレポン correspondence」(相手との通信業務)です。

まず前回の宿題から。FOBでの輸入の場合、輸入者にとり輸出国現地での船/保険の手配は自国からは難しいため、輸出者にこの手配を依頼する必要があります。これはインコタームズのFOB条件の例外事項ですので、「売買契約書」にこの旨を記載するか、「事前の合意」が必要です。輸入手続きが始まる前に、輸出側に依頼を出して、船と保険の手配を依頼します。Could you kindly arrange the necessary booking and marine insurance there on behalf of us? こう書きます。[on behalf of us]は「当社の代形で」の意。FOB輸入ではこの旨の通信が必要。[there]は「現地で」の意。いっぽうFOB輸出の場合はIf you are OK, we are going to arrange the necessary booking and marine insurance here for your convenience. と伝えます。「貴社がよろしければ、貴社の便宜を図り、こちらで船腹予約と海上保険の手配をしておきます。」

これが、輸出入の手続き上のコレポンです。

さて、皆様はコレポンをどうお考えですか?

海外企業とはコレポンが綿密であるほど良い取引が展開できます。色々な条件や段階がある貿易取引です。引合い、提示から、L/C手配、船積み、出航/出荷、受け取り、支払い、クレーム、取引の定着、商材の営業展開の状況に至るまで、あら

ゆる段階でお互いに報告や意見を交わし、意思の疎通を図ることが貿易取引を成功に導きます。些細なことでも相手側との密接なコレポンが望ましいのです。現在は電子メールの普及もあり、コレポンもやりやすくなりましたね。

コレポンを頻繁に実行しましょう!

ある日本企業の実例です。米国製電気製品の輸入代理店をしています。最新の優れた技術を駆使した製品です。同社は米国メーカーに対して、貨物の受取り、支払い手配、さらには製品の販売状況など営業展開の書面報告を、一切行っていませんでした。つまり、商業に必要な仕入れ側との意思疎通が欠けていました。このため「この会社はわが社の製品販売に積極的でない」と米国側が思ってしまう、別の日本企業に接触し当該製品の並行輸入を認めました。電気製品ですから販売に際しては日本の法律や規格に適合する諸手続きが必要です。しかし並行輸入品にはこうした適合が欠けている面があり、正規輸入品の信頼性までが懸念される結果となって、例にあげた企業は、現在、販売にたいへん苦心しています。これは、コレポンの欠如が招いた事態です。もしこの会社が日々いろいろな事項を先方に伝え、意思疎通を図っていれば回避できたことです。

欧米人は、会話での日本人の「沈黙」をととても嫌がります。このことがコレポンのあり方・貿易取引の成否にも反映されていると思います。

● ニュースフラッシュ ●

- 11月 1日 福岡市都市計画審議会、福岡空港国内線ターミナルビルの再整備に必要な都市計画の変更を採択。再整備案では、新しい誘導路を現在の第1ターミナル部分に設置し、ビルを東側に移設する。
- 11月11日 博多港が、国の「日本海側拠点港」に指定された。今後の港湾機能の充実・拡大が期待される。
- 11月17日 福岡市港湾局と博多港振興協会が大阪市

で博多港振興セミナーを開催、博多港をPRした。

- 11月22日 博多港ふ頭株式会社、中国広州市で開催の「日系自動車部品展示会」に出展参加。現地のメーカーに、部品供給などでの博多港利用をアピールした。
- 12月 7日 福岡貿易会の会員交流会を開催。高島・福岡市長の講演会と懇親会に120人が参加した。
- 12月15日 福岡・ラオス友好協会、「シートン大使と留学生を囲む会」を開催。会員など100人が参加。
- 12月20日 韓国のLCC、ティーウェイ航空が、福岡～ソウル(仁川)に就航。